

森は海の恋人 人の心に木を植える

「海が汚染され、漁に障害が出た」と聞いたら、「海をきれいにしよう!」と誰もが思うだろう。

しかし、海の環境を良くするためには、森が大切なんだと仲間を集めて植林を始めた漁師さんがいる。

気仙沼で牡蠣の養殖を営む畠山重篤さんだ。

環境を守るには、森、川、海をトータルで考える必要性を説く。

畠山 重篤氏 講演会

[日時] 2012年 6月13日 水 11:10~12:40 [場所] 関西学院会館レセプションホール

国連森林フォーラム (UNFF) 「フォレスト・ヒーローズ」受賞!

フォレスト・ヒーローズとは

国連森林フォーラム (UNFF) が森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人物に対して表彰するものです。

2011年の国際森林年に当たり、国連は世界の5地域それぞれから最も森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人物を「フォレスト・ヒーロー」として選ぶ作業を進めてきました。

アジア地区のフォレスト・ヒーローとして畠山重篤が選定され、2012年2月9日、授賞式が開催されました。



畠山 重篤 (はたけやま しげあつ)

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることに気付き、「牡蠣の森を募る会」を結成。(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)

1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。この活動は、小・中学校の教科書にも紹介され、同時に環境教育の一助として全国から子どもたちを養殖場に受け入れている。

緑化推進功労者内閣総理大臣表彰 (2003年)、宮沢賢治イーハトーブ賞受賞 (2004年)、国連森林フォーラム (UNFF) 「フォレスト・ヒーローズ」受賞 (2012年)。